

道
守

みちもり

MICHIMORI
TSUSHIN

通信

vol.46 春号



巻頭インタビュー

地域を支える道守ネットワーク

塚原 健一（道守九州会議代表世話人）

九州地方整備局の取り組み

令和6年能登半島地震への対応

連携をテーマに「つながる 九州風景街道」

令和6年度 5つのチャレンジ

古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を運び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄り、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行つたのだろうか。

確かに、高速道路やバイパスなど、道は整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組む人々が増えている。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。

さあ、新しい道に一歩踏み出そう。



天草パールライン

CONTENTS

- 01 巻頭インタビュー 道守九州会議 代表世話人 塚原 健一 (道守九州会議代表世話人)
- 02 みちづくし in 竹田 2023 実施結果
- 06 私たちの道守活動
- 09 わたしの好きな道 先人たちの情熱が詰め込まれて 渋谷 香奈
- 10 九州地方整備局の取り組み 令和6年能登半島地震への対応
- 12 連携をテーマに「つながる 九州風景街道」 令和6年度 5つのチャレンジ
- 14 九州横断 つながる・ひろがる・やまなみ 長崎・島原交流!
- 15 海外道事情 世界に期待される日本の国際協力 福井 貴規
- 16 道守たちのトピックス
- 17 道守人物伝・横顔・編集後記

表紙画：久富 正美

1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

巻頭インタビュー

道守九州会議
代表世話人

KENICHI TSUKAHARA 塚原健一

地域を支える
道守ネットワーク

——新しく道守九州会議代表世話人に就任された先生の略歴をご紹介ください。

塚原 大学では、前代表世話人の樗木先生のもとで交通計画とか都市計画を専門に学びました。

1985年に大学の土木工学科を卒業し、当時の建設省に入り26年間勤務し、その後九州大学にきて13年になります。

建設省では、インドネシア3年、フィリピン3年、アメリカ2年、JICAに3年勤務して、この時は道路とか河川とか言わずに地域

開発が主な仕事でした。

その後、ご縁があつて九大の樗木先生の研究室を引き継ぐことになったのですが、防災の仕事に重点を置くことになりました。

三原 防災はやはり道と関わりが強く、能登半島震災では道路が通れないから救助に行けない事がありましたから、強い道路の大切さを痛感しています。

塚原 高速道路の素晴らしさを感じます。小学校四年の頃、初めて高速道路に乗ったんです。いや、もう速い。魔法の道路を実感しました。

三原 災害に強い道が必要なんですよ。

塚原 以前、地方自治体は経済発展につながる道路整備が優先で防災にはお金を使いたがらなかったです。しかし、ある市長さんは国土整備の会議の中で、「経済発展を優先して道路整備などを一生懸命頑張ってきたが、大水害で市内が大きな被害を受けたのを見て、自分は一体何をやってたんだろう」と思った。経済も発展させるけど、やっぱり安全を確保することが市長の仕事だと、その時、自分は本当に大き

な衝撃を受けた。」と言われていました。

山田 道守さん達も平日頃から道を見てるから、安全に安心して通れる道になつてほしいという感じですね。

塚原 僕が興味があるのは、地域がどうやってこれから自立していくかっていうことです。今の学生も大企業に入つて世界で活躍する子だけでなく、地元で根付いて、地域のために一生懸命やる子も増えています。今は立身出世より身近な人たちに貢献したいという時代です。それを考えると、道守っていうのはそこにつながる活動なんですよ。楽しいですよ。

山田 道守だから出てきて草取りする。だけど、綺麗になった後は気持ちがいいねって。それがずっと繋がってるのかなっていう気はしますね。

三原 塚原先生も道守についてのビジョンをお持ちだと思えます。

塚原 僕のビジョンは基本、地域の活力を維持しなきゃいけないということです。地域で常に活動してれば、いざ災害になった時でもネットワークがあるし、強みになります。九州北部豪雨(平成29年)の時に、福岡県の東峰村は地域の絆がとても強くて頼もしかったんですよ。避難所になつている公民館にパーテーシ

ョンを持ち込んだら、なんで俺たちをこうやって分断するんだ?と怒られたと。昔から家族ぐるみで付き合いがあるんだから、これでいいんだと。

山田 パーテーションはいいものだと思います。

塚原 東峰村は100人ぐらいの集落が20ぐらいあつて、避難所に誰々さんいないって言ったら、「あの人は今日は福岡に行つてるよ」という感じで探す必要ないくらいみんな知つて居るわけです。地域コミュニティが生きてるからです。

地域を繋げているネットワークが道守なんだと思つています。この先もずっと人口も減るし、地域の力も減っていくので、道守のようなネットワークがあれば、下支えできると考えています。それで地域が強くなることを痛感しています。

山田 コミュニティの充実が大切なですね。

塚原 道守は各県ごとに個性があり、また地域ごとに違うけれど、みちづくしの時にあれだけ集まつて賑わっているのは、地域を良くしようっていう志が一緒だから。人の話を聞いたり、自分のやつてることを話したりするのが楽しいんですよ。



■プロフィール
つかはら・けんいち 1962年生まれ。九州大学土木工学科卒業後、日本とアジア各国の社会資本整備に従事し、2011年から九州大学大学院教授。

山田 塚原先生も樗木先生から代わつて、新たな20年をつないでください。今後ともご指導よろしくお願いします。

インタビュー

道守ふくおか会議 代表世話人
山田 三代子さん
道守佐賀会議 代表世話人
三原 ユキ江さん



みちづれ in たけた 2023

みちづれ in 竹田 2023 実施報告

「つながる・ひろがる」
450名が大集結！
花咲くたけた3つの輪くこれまで・これからく

「第19回みちづれ in 竹田2023」が、令和5年10月27日（金）、28日（土）の2日間にわたり、大分県竹田市において開催され、九州各県から約450名の道守さんや関係者が集いました。

本シンポジウムは、大分県では3巡目で『花咲くたけた3つの輪くこれまで・これからく』を主要テーマとし、これまで「20年間、道を舞台に地域を愛し、実践してきた道守が、いかなる役割を果たしてきたのかを振り返り、更に「これから」少子高齢化社会に向けて、「わたしたち道守の役割」を再確認し、「みんなの未来」を語り合う会となりました。

オープニング・シークレットゲスト



しらゆり幼稚園のみなさんによる太鼓のパフォーマンス

「未来」に相応しい子どもたちに参加をして欲しかったので、しらゆり幼稚園に協力をお願いし、出演準備を「極秘」で進めました。

当日の会場入りも徹底して「極秘」を貫き、幕が開いた瞬間、会場の皆さんを驚かせることができました。また子どもたちの素晴らしいパフォーマンスに感動をいただきました。

ご挨拶

桑野和泉実行委員長から開会の辞として、大会主旨の説明など踏まえた主催者挨拶に始まり、道守九州会議・塚原健代表世話人、ご来賓の大分県・佐藤樹二郎県知事（三村土木建築部長代読）、竹田市・土居昌弘市長、九州地方整備局・森戸義貴局長より開催に対するご祝辞を頂戴しました。



桑野実行委員長



道守九州会議
塚原代表世話人



大分県
三村土木建築部長



竹田市
土居市長



国土交通省
森戸九州地方整備局長

第一部

トークセッション

「仲間とのつながりが、新しい可能性を生み出す」をキーワードに、地域の特徴を活かし、地域を活性化するために大分県内で活躍されている方々に登壇いただき、鼎談していただきました。



Cafe BoiBoi 渡辺勝三氏
中九州横断道路 早期完成を願う女性の会 堀幸子氏



堀幸子氏、渡辺勝三氏、春田義信氏
三名による竹田式「花咲くたけた運動」トーク

2 3つの輪



道の駅すごう (竹田市) 和田猛駅長
道の駅みえ (豊後大野市) 後藤節子駅長



道の駅ゆふいん(由布市)大久保慶駅長
後藤節子氏、和田猛氏、大久保慶氏三名の駅長から「3つの輪」について紹介いただきました

3 どうする? 竹田、地方創生



竹田キリンタン資料館 後藤篤美館長
土居昌弘市長



土居昌弘市長、後藤篤美氏、桑野和泉氏
地方創生や竹田の未来について熱く語り合いました

第二部

シンポジウム

なぜ道守を続けるのかく

テーマに「なぜ私たちは道守を続けるのか？」をきっかけ、会場の皆様と共に本質に迫りたいと考え、登壇者の方々には道守発足からの20年を振り返っていただきました。やはり、仲間がいることで、続けられてきたことがキーワードとなりました。

- ① 温故知新
道守九州会議 顧問 樗木武氏
道守九州会議 顧問 岡本博氏
実行委員長 桑野和泉氏
- ② これまで
つづける・つながるく
道守ふくおか会議 山田三代子氏
道守長崎会議 牧圭子氏
道守佐賀会議 三原ユキ江氏
- ③ これから
つなげる・ひろがるく
道守かしま会議 田島直美氏
道守くまもと会議 阿南誠志氏
道守みやざき会議 日高茂信氏
道守大分会議 加藤千明氏

1 温故知新～はじまりの振り返り～



道守九州会議発足時の裏話を伺いました

2 これまで～つづける・つながる～



これまでの福岡・佐賀・長崎での道守活動について紹介いただきました

3 これから～つなげる・ひろがる～



大分・熊本・宮崎・鹿児島で行っている「つながる・ひろがる」活動を紹介いただきました

「花咲く竹田」大会宣言

道守活動は今年で20年をむかえます。冬の寒い中、かじかむ手で、道路を掃いてきれいにします。道路に「花」を植えます。夏の暑い日にも水をやり手入れをします。そして、ある日「花」が咲きます。通りがかりの人たちが「いつも、キレイですね。」「ご苦労様。ありがとう」とたくさん声を掛けてくれます。わたし（ぼく）は、うれしくなって心に「花が咲いた」ようです。道を守ると、心もきれいになります。活動している仲間と一緒にたのしくなります。今日、私たちの竹田に九州の道守の仲間が集まりました。広げましょう。あなたの住む町をゴミひとつない「花咲く街角」に。みんな、だれもがたのしく笑顔で暮らせる町になるように。「道」を守ることで・・・。

道守大分会議



菅生小学校の児童による大会宣言の読み上げ

「花咲く街角」を——大会宣言

令和6年度末に閉校をむかえる菅生小学校の児童に最後の締めをお願いしたく、堀校長先生にご相談しながら演出を考えました。

実行委員会からは、これまで40数年活動を続けてきた菅生小に感謝の意を込め、インタビュー動画の放映と特別表彰を送らせていただきました。

大会宣言は、子どもたちが読みあげ、参加した方々の心に響くメッセージとなり、交流会の幕を閉じました。

道守功労者表彰

「姫だるま」を贈呈

長年にわたり、道守活動に貢献してくださった個人・団体に道守九州会議から表彰を行いました。表彰者には江戸時代から続く竹田の伝統工芸品「姫だるま」を記念にお渡ししました。この「姫だるま」はひとつひとつ手づくりのため、大変貴重なものです。表彰された皆様、おめでとうございました。



塚原代表世話人により表彰



表彰された皆さんの記念撮影

功労者表彰 受賞者

- 道守ふくおか会議 木谷直記氏
- 道守くまもと会議 道守くるめネットワーク
- 道守佐賀会議 森永建設株式会社
- 道守長崎会議 天島道夫氏
- 道守くまもと会議 下城卓也氏
- 道守大分会議 生石港町自治会
- 道守みやざき会議 一般財団法人みやざき公園協会
- 道守かしま会議 西之園実秋氏

感謝状 受賞者

竹田を想う姫だるまの会



国の重要文化財に指定されている白水ダム



円形分水を見学



竹田市の無形民俗文化財に指定されている姫だるま。「後藤姫だるま工房」一軒のみで製作されている

Cコース
祖母山麓の名水、遺産巡り
「たけたの水文化を知ろう」
水をめぐる歴史、姫だるま工房など、普段なかなか行くことができない箇所をバスで巡りました。後世のために築き上げてきた「土木遺産」は水の歴史とともにできた技術で、文化高い竹田を体感することができました。



北原白秋の歌碑を背にBコースの皆さんと



サルビアの花が美しい花壇

Bコース
久住高原と先人の見た風景に触れよう
青い空と緑の草原が広がる久住高原を感じられた本コースでは、与謝野晶子、北原白秋など、数多くの文人の歌碑をめぐり、残された歌や詩とともに、素晴らしい絶景を五感でフルに体験することができました。

『みちづくしin鹿屋2024』開催案内！

開催日 令和6年10月24日(木)、25日(金) 会場 ホテルさつき苑(鹿屋市西原1丁目9番10号)

【1日目】交流会、交流集 【2日目】現地体験学習

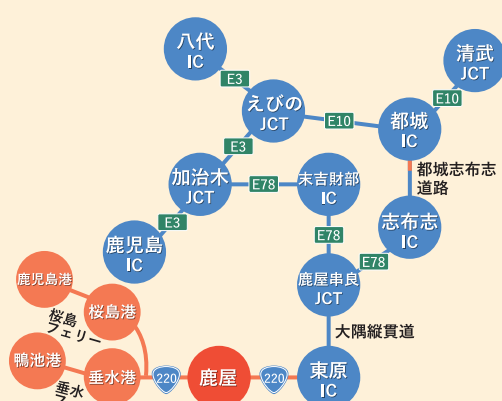
今回は記念すべき第20回目の開催です。道守活動のこれまでの歴史を振り返るとともに、受け継がれてきた道守の活動を、未来へ伝えていきたい。そんな思いを参加の皆さんと共有できる交流会にしたいと思います。

また、今回は初めての大隅半島での開催となります。鹿屋市のばらをはじめ、大隅半島の魅力をたくさんお伝えできればと思います。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



アクセス 【ホテルさつき苑駐車場 150台】

- 車で高速道路を利用した場合…八代ICから約150分/都城ICから約85分/鹿児島ICから約85分
- 車でフェリーを利用した場合…桜島フェリーから約100分/鴨池・垂水フェリーから約90分



ホテルさつき苑



第1回実行委員会

交流集会



佐藤大分県知事挨拶



三保木道路部長挨拶

交流会後、場所をホワイトキューブのような空間に変身させた体育館に移動。竹田市の名産「かぼす」を使ったウェルカムドリンクのかぼすジュースを振る舞い、佐藤大分県知事の開会挨拶と三保木道路部長の乾杯挨拶で交流集会がスタート。まちづくりたけた(株)を中心に竹田(大分)のご当地の料理を準備していただきました。



大会旗受け渡し 竹田から鹿屋へ



道守くまもと会議



道守長崎会議



道守佐賀会議



道守かごしま会議



道守みやざき会議



道守大分会議

みちづくしin竹田2023 現地体験学習

Aコース

岡城跡・城下町を歩き歴史文化を感じよう
昔の風情が残る、「小京都」と呼ばれる竹田の城下町は周囲を切り立った山に囲まれており、岡城のスケールの大きさが印象に残ります。竹田市出身の滝廉太郎を大切にしている思いやギリシヤンの歴史や、現代建築家・隈研吾氏の設計した建築も存在し、新旧が町に溶け込み、文化が高いと感じる散策でした。



岡城跡で記念撮影

各県からは、コロナ後の道守屋台も完全復活し、総勢350人を超える参加者で盛大に盛り上がりました。
最後に、次回開催地(鹿児島県鹿屋市)の道守かごしま会議のへ大会旗の受け渡しが行われ、田島直美代表世話人に抱負をいただきました。

私たちの道守活動

道に出て、道を見つめ、道の問題と向き合う。それは私たち自身の未来を考えること。歩いて楽しく、暮らして楽しい地域づくりのために、九州各地の道守会員が取り組むスタイルやアイデアなどもさまざまな活動を紹介します。

道守くまもと会議

やまなみハイウェイ60年
つながる・ひろがる
道守活動

■道守交流研修

熊本県と大分県の観光ルートの大動脈やまなみハイウェイが今年で60年になります。2県にまたがる県道11号（通称やまなみハイウェイ）をこよなく愛する道守の仲間がゴミ拾いや修景活動、研修会や人的交流などが始まって3年が経ちました。1月にやまなみハイウェイから国道47号大分県・熊本県から長崎へと道守研修で長崎県の道守仲間と交流会が実施されました。移動の車中では意見交換が行われ現地道守ガイドの説明を受けました。まさしく道を通して「つながる・ひろがる」を旗印にしている私たち道守の実践の場として実り多い研修会でした。



道守仲間との交流



道守号に乗り込み 長州港～島原～南島原～長崎市（交流会泊り）～佐世保へ

■南小国町ボランティア行動隊

南小国町は一番住んでみたい町で全国1位に輝きました。豊かな自然、温泉などもあります。住民一人一人の笑顔とおもてなしが理由であると思います。

道守くまもと会議に所属する南小国町ボランティア行動隊は、国道212号のゴミ拾いを毎月第2火曜日、河川の草刈りとゴミ拾いを毎週木曜日に実施します。日本で一番美しい村連合に加盟している南小国町がゴミもない清流と自然の草原が守られるなら何より幸せです。これからも道守活動を実践して美しい南小国町を目指します。



国道212号沿いを清掃

（道守くまもと会議 阿南誠志）



南小国町ボランティア行動隊のみなさんで

高柳和みの花みち保存会 （阿蘇市波野地区）

「和みの花みち」四季折々の花の道

大分県との県境に阿蘇市波野があります。阿蘇山や九重連山そして祖母山に囲まれた農山村風景が広がり、そば処としても有名です。



大塚さんご夫婦

JR豊肥線波野駅近くに「和みの花みち」という2キロの道路があります。四季折々の花が道路わきに咲いて心が和みます。大塚國勝さん、弘子さん夫婦で始めたのがきっかけで、地区全員で花植えを取り組むようになり、現在は「高柳和みの花みち」保存会として植栽から草取りなど全員で取り組んでいます。熊本日日新聞社の緑のリボン賞の受賞もあり多くの方が訪ねてきます。

弘子さんが作る苗から花に育てて学校や地域公民館などにも届けて喜ばれています。今はスイセンが「和みの花みち」2キロに延びて黄色のラインを作っています。ぜひご覧ください。（道守くまもと会議 阿南誠志）



3月はスイセンの花が見ごろ

福岡



道守うきはネットワーク（うきは市）

県南地域の道守活動は自治体との連携で進めています

福岡県南地区は、自治体単位で道守ネットワークが作られているのも特徴の一つです。令和5年12月18日に関係する道守の皆さんや自治体関係者が集合しての意見交換会（福岡県南会議・平成23年スタート）をうきは市で開催いたしました。



令和5年12月「道守ふくおか会議（県南地区）」うきは市にて

コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となったうきは市には県南会議を構成する6つのネットワークの道守の皆さん、自治体、道守九州会議、国土交通省関係の方々など、総勢57名の参加で活発な意見交換会になりました。県南地域の各道守の皆様から活発な活動報告が行われたほか、北九州市から「門司港レトロ花の会」の北里さんに活動報告頂くなど大変参考になりました。会議後の意見交換（懇親会）がさらに盛り上がったのは言うまでもありません。久留米市での次回開催をお会いできるのを今から楽しみにしています。

（道守うきはネットワーク 代表 大鶴芳明）



8月のコスモスの種まき・満開のコスモス

佐賀



松尾建設株式会社（佐賀市）

共に安全安心の道づくりに努める



R6.2.3「佐賀城下ひなまつりおもてなし清掃活動」

松尾建設株式会社は道路事業に携わるものとして「道への関心や愛護の心を育み、道を守り育てる」との道守の活動目的に賛同し、利用しやすい道路を作ることにも取り組ん工事後も道路環境の維持に努めたいとの思いから入会しました。



さくらマラソン清掃活動



毎年実施している大井手幹線水路と周辺道路の清掃活動

長崎



株式会社大島造船所（西海市）

「2つの道守活動」への参加を通して、地域貢献に寄与します。

株式会社大島造船所は、世界一流の製品と世界一流のサービスで、地域の人々、日本の人々、世界の人々に「豊かな生活」を提供します。

造船業を主力事業とし、鋼橋上部工を中心とした鉄構事業やトマト栽培等の農産事業を手掛けます。二つの「道守活動」は、会社が取り決めた年間計画に基づき、毎月部署毎に昼休みを利用して実施する清掃活動です。毎回会社周辺の道路や駐車場を中心に、バス停や公園、桟橋といった公共施設で清掃活動を行っています。



清掃活動とながさきサンセットロードの連携



道守養成ユニットによる重点管理橋梁の点検



弓張岳から 佐世保港



旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館(佐世保市民文化ホール)

わたしの好きな道

先人たちの情熱が詰め込まれて ～佐世保のあしあとー海軍さんの散歩道～

いま平和を享受できていることに感謝し、この平和を未来へバトンタッチすることが、今を生きる私たちの役割なのかもしれない。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

司馬遼太郎の歴史小説「坂の上の雲」に描かれた、明治維新から近代国家へと力強く踏み出した時代。日本の近代化を身近に感じることのできる佐世保のまちなみは、先人たちの情熱や知見がふんだんに詰め込まれ、このまちが歩んできた歴史を感じ取ることができます。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

私の好きな道は、海軍さんが歩いた歴史あるいくつかの道。ひとつに絞ることができないのは、生まれ育ったこのまちのすべてに誇りを持っているから。

プロフィール

渋谷 香奈 (しぶや・かな)

道守長崎会議世話人 日本防災士会理事 薬味-YAKUMI-

生まれたまち・育ったまち・暮らすまち大好きな身近な地域をもっと好きに、もっと楽しくするために活動している薬味-Yakumi-。地域の人や文化、風土に光を当てて新しい風を吹かせることがミッションです。地域の持ち味にちょっとだけ「薬味」をプラスしてより魅力的に輝かせたい、そう願って活動しています。

Make a new breeze and hights to local. 新しい風と光を、地域へ。



私たちの道守活動



夏！ 満開のポーチュラカ

この取り組みは宇佐平野を東西に走る県道と気佐野線(約5.8km)の植樹帯を舞台に、周辺企業や学生などおよそ170団体が活動する「市民参加型まちづくり事業」です。平成5年よりスタートし四季折々の花と豊かな田園風景が通る人にやすらぎと潤いを与えます。弊社も和気地区の一部区間において植樹帯の花植えや草取りを月2回程度行います。月始めの全体会議後や就業後に呼びかけ、多い時は20名以上が活動に参加します。昨年はパンジーが春の訪れを・・・、初夏には色鮮やかなポーチュラカが満開となりました。今後もこの活動を通じて、職場の結束力強化につなげていきたいと思っています。(品質管理部 渡辺幹夫)



職場の力を集結して

弊社は大正元年に創業し、おかげさまで2022年に110周年を迎えました。主に国や県・市が発注する道路・河川・公共施設など私たちの生活に欠かせないインフラ整備を行っています。また、近年多発する自然災害に対する防災・災害復旧など地域の守り手としても期待されています。主な道守活動は「USAフラワーロード花いっぱい運動」です。

株式会社末宗組(宇佐市)

道守活動を通じ、職場の結束力を強化!!

大分



宮崎



宮崎県地域づくりネットワーク協議会(宮崎市)

地域と地域、人と人をつなぐ「道」に感謝

宮崎県地域づくりネットワーク協議会は、県内で活動する地域づくり団体の支援を行う組織です。宮崎県内を8つのブロックに分けて、ブロック長を中心に、会員の皆さんが地域づくり活動に対して円滑に、そして楽しく取り組めるよう、役立つ情報の発信や研修や交流の機会を提供し、地域の活性化に資する活動を行っています。

年に一度、ブロックが持回りで開催し、県内の会員や市民活動を行う人々が集う、地域づくり県内研修交流会の際に、道守活動として道路美化や植栽活動を開催地で実施しています。協議会の会員だけでなく、会に参加する一般の参加者の皆さんも一緒に道守活動に参加しており、地域貢献活動だけでなく、地域づくりの情報交換の場としても毎回賑やかな活動になっています。

普段あつて当たり前の「道」が、地域と地域をつなぎ、そして地域づくりの仲間たちをつないでくれている。これからも感謝の気持ちをもつてより良い地域づくりを続けていきます。



2019年、五ヶ瀬町での県内研修交流会後の集合写真



2023年、県内研修交流会(宮崎市青島)で行った清掃活動

(事務局 金丸美保子)

鹿児島



大福コンサルタント株式会社(鹿児島市)

道守活動を通じて、住みやすい街づくりを。



県道225号の沿道を清掃中

大福コンサルタント株式会社は、今年創立50周年を迎えた総合建設コンサルタント会社です。地域の方々が安心・安全に暮らせる街づくりを目指して、土地の測量や道路・橋梁・河川・砂防に関する施設などの設計を中心に、公共事業から民間事業まで幅広い分野に取り組んでいます。

私たちは国の「ボランティア・サポーター・プログラム」と、県の「ふるさとの道サポーター事業」の一環として、会社周辺の国道225号線と県道217号線の沿道に散乱している空き缶などの回収や雑草の除去作業を行っています。交通量が多い上に、近くにJRR南鹿児島駅や市電の停留所がある関係で、朝と夕方とは人と車が頻繁に行き交う地域です。通行する地域の方々も気持ちよく利用できるように、15年以上も継続して定期的なボランティア清掃を実施していますが、近年はゴミの量が少なくなってきたことを実感します。今後もきれいな道が続くよう継続した活動を行っていききたいと思います。(代表取締役社長 福田真也)



清掃後の集合写真

令和6年能登半島地震への対応



九州地方整備局の取り組み

地震の概要

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震が発生しました。

この地震により、石川県輪島市や志賀町で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6強や6弱の揺れを観測し、多くの被害が発生しました。この地震により、石川県金沢市で80cmの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測しました。

道路においても高速道路1路線のほか、補助国道40区間、都道府県道等145区間の通行止めが発生し、3月1日現在においても高速道路の1区間、補助国道と都道府県道等の55区間で通行止めを実施しています。

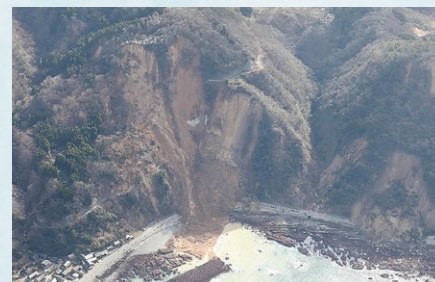
緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣

九州地方整備局では、1月3日より北陸地方へテックフォースを派遣しています。

派遣者数は、3月5日現在で延べ2234名・日になります。なお、派遣先での任務としては、道路に関する被災状況調査のほか、給水支援や水道、港湾、住宅に関する高度技術指導など、多岐にわたる支援を行いました。



国道249号 鳥川橋の被災状況



国道249号 法面崩落

600路線の道路被災状況調査——輪島市道

道路関係の現地調査は、通行可能調査及び被災状況調査を実施しました。担当するエリアは、甚大な被災を受けた輪島市で市道に関する調査を実施しています。現地では、1陣あたり約1週間の活動を行っており、2月27日に帰還した第8陣まで、毎回6班（約30名）の体制で現地調査を実施しました。

◆通行可能調査（1月6日～24日）

第1陣から第3陣までは、中部地方整備局及び四国地方整備局とともに、輪島市内で市道に関する通行可能調査を実施しました。九州地方整備局は、門前地区、町野地区、南志見地区の約600路線を担当しました。調査にあたっては、被災後時間も経ってなかったこともあり、孤立集落の調査を行うこともありました。現地での作業にあたり被災直後には、輪島市で拠点となる宿泊施設が確保できなかったため、金沢市に拠点を設けて作業を行っていましたが、輪島市の現場まで片道約4時間かかること、また、降雪や降雨により作業の進捗が悪いこともあったため、九州地方整備局から派遣している待機支援車（大規模な災害対応や長期的な復旧活動を支援するために休憩、仮眠等ができる設備を備えた車両）やマイクログラスを輪島市に配備し、車両に宿泊まりするなど、移動に要する時間を短縮することで調査の進捗を図りました。



現地調査の状況（輪島市門前町）



通行可能調査、孤立状況調査の成果

◆輪島市など約350路線の被災状況調査（1月24日～2月26日）

第4陣から第8陣までは通行可能調査に引き続き、被災箇所毎の調査を実施しました。九州地方整備局は、輪島市の門前地区と町野地区の一部を担当しました。

特に門前地区は被災した路線が多く、被災状況調査に時間を要していたため、他の地区で調査が完了した関東地方整備局及び近畿地方整備局と協力して作業を進め、2月25日には輪島市から要望のあった路線のうち、九州地方整備局で担当した約350路線の全てについて被災状況調査を完了することができました。

被災状況調査の結果については、今後の災害復旧の基礎資料として活用していただくよう、2月26日に輪島市長に手交しました。



被災調査資料の手交（輪島市門前町）

輪島市での被災状況調査の状況



道の駅「うきは」より被災地へコンテナ型トイレを派遣

「能登半島地震への「道の駅」ネットワークの貢献」

能登半島地震の被災地支援のため、防災道の駅に選定されている道の駅「うきは」（福岡県うきは市）に設置している防災用コンテナ型トイレを道の駅「あなみず」（石川県穴水町）に派遣しました。

1月11日21時に道の駅「うきは」を出発し、翌日の15時に道の駅「あなみず」到着、18時に設置完了し、利用開始しました。

このコンテナ型トイレは、浄化処理システムにより、設置後に給水を行えば、水洗面の水は不要で、太陽光発電・バッテリー等の電源機能も有しており、完全自己処理型トイレとして、使用することが可能です。

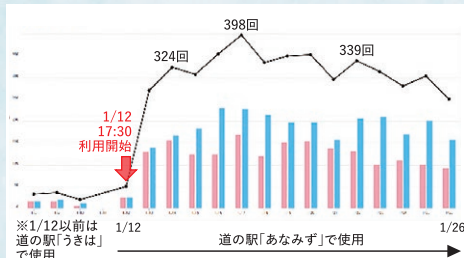
道の駅「あなみず」では、1日あたり300回程度の利用がありました。なお、コンテナ型トイレは、道の駅「あなみず」のトイレが復旧した2月20日まで利用された後、現地ニーズに対応し、能登町に移動しています。



道の駅「うきは」のコンテナ型トイレ



道の駅「あなみず」で



道の駅「あなみず」でのトイレ利用状況



道の駅「あなみず」での設置状況



道の駅「うきは」出発時

連携をテーマに「つながる九州風景街道」

令和6年度 5つのチャレンジ

九州風景街道は、九州地方の景観、自然、歴史・文化、考古、食、産物、祭り、イベント等の地域資源を最大限活用し、暮らす人々、訪れる人々にとって魅力的な九州を実現することを目的として、地域住民等の「美しいみちづくり」への積極的な参加と地域住民等と行政の協働により、地域の魅力を発掘、維持、発展させることを目指しており、現在、15のルートが登録され、活動を行っています。

九州地方整備局では、九州風景街道に関する取り組みを円滑、効果的に推進する体制として「九州風景街道推進会議」を設置し、方針の策定や支援施策の企画・立案を行う等、風景街道の取り組み推進を図っています。

令和6年度は、次の「5つのチャレンジ」を取り組み方針として推進することとしています。

- 1 広報活動の推進
- 2 道の駅、道守をはじめとする多様な団体との連携
- 3 活動や体制の強化
- 4 風景診断の実施
- 5 補助制度の活用推進

1 広報活動の推進

風景街道の認知度向上に向けては、これまでもSNSやHP等を活用した広報活動を展開しており、インスタグラムでは九州のスポット紹介と合わせて各ルートが実施している活動やイベント等を紹介するなど、各ルートの広報活動の支援も行っております。九州風景街道のインスタグラムは令和6年2月末時点で3000人以上のフォロワーを有し、多くの方へ情報発信しています。

令和6年度は引き続き各ルートの活動紹介等を行うとともに、世界的なサイクルイベントであるツール・ド・九州と連携した取り組みの発信も推進しています。九州風景街道と関連するコースの紹介など、双方にとってメリットのある取り組みの実施を目指します。

3 活動や体制の強化

風景街道の連携強化に向けては、これまでに各ルートが活動を実施しやすい環境を整備するためにワーキンググループやサポート+を設置しています。令和6年度は、ルート内及びルート間連携や他団体との連携の推進に向け、ルートの声を聞き、新たな活動の提案などを行う体制を整え、共通資源を有するブロックでの連携など活動や体制の強化を図ります。

具体的には、共通資源を有するブロックでの意見交換会の開催や各ルートが主体となって実施している活動やイベントに取り組みます。



令和5年度ブロック意見交換会



やまなみハイウェイ清掃活動(熊本・大分)

4 風景診断の実施

令和5年度に実施意向のあった「ちよっとよりみち唐津街道むなかた」「あまぐさ風景街道」で風景診断を実施しました。風景診断では、民間と行政のパートナーシップが一緒に風景の成り立ちや歴史について見つめ直すことで地域の魅力を発見・再確認し、現状の課題の解決、地域の持つ魅力の更なる向上に向けた対策について議論を行いました。

令和6年度には、次世代への活動継承に寄与できるよう、各ルートのパートナーシップとの連携による継続的な実施を目指し、実施していきます。

2 道の駅、道守をはじめとする多様な団体との連携

風景街道は多くの方との連携・つながりの活動であり、他ルートやルート内の活動団体との連携強化、各県全域で活動を行っている『道守』や各地域の活動拠点となる『道の駅』をはじめとする多様な団体との更なる連携強化に取り組みます。

令和5年度においても、日本風景街道大学や道の駅の日の一斉清掃など、様々な活動の中で多様な団体と連携・協働しています。

令和6年度は、道の駅、道守、風景街道の実際に活動を行っている方々が参加する活動やイベント、交流会の実施を検討しており、他団体との新たな連携を望んでいるルートと一緒に取り組めます。

また、その活動を通して、各団体の活動者の思いを共有することで、新たな活動への展開のきっかけになると考えており、各団体の更なる発展に期待しています。

その他にも人材や後継者の確保に向け、各団体のイベント会場等では各団体の活動のPRを実施することで新たな賛同者および活動への裾野を広げる活動を行っています。



道の駅、道守、風景街道の連携(長崎県)



令和5年度日本風景街道大学の様子

5 補助制度の活用推進

各ルートの継続的な活動には資金確保も重要であり、令和5年度に実施したブロック意見交換会では、各ルートから補助金に関する情報が不足している等の意見が挙がりました。そこで、令和5年度には各ルートで活用できる補助金や助成事業を調査し、風景街道の活動に適した補助金や助成事業等の活用事例集を作成しました。

令和6年度は、これらの事例集を各ルートに紹介し、活用に向けた申請書の作成や活用後の成果品の作成などを一緒になって取り組みます。



ちよっとよりみち唐津街道むなかたでの風景診断



ワークショップ



現地での風景診断

九州横断

つながる・ひろがる・やまなみ

長崎・島原交流！

島原風景街道・長崎サンセットロード 連携交流

道守大分会議・道守くまもと会議、風景街道、道の駅の3者が主体の「やまなみハイウェイ」つながる・ひろがるプロジェクト」は、60年前に開通した「やまなみハイウェイ」のかつての景観を取り戻そう！という目的で修景活動を始め、様々な業種の方を巻き込んで、ファンを増やし、持続的な活動を目指して活動しています。このプロジェクトのベースには、昭和3（1928）年に自動車の発展を見越して、九州横断道路（やまなみハイウェイ）の原型でもある、別府・湯布院・くじゅう高原・阿蘇・熊本・雲仙・長崎間の観光自動車道を提唱し、国立公園制定に向けて奔走した別府観光の父・油屋熊八の思いを現代に継承したいという壮大な思いもあります。

このルート上には九州を横断している温泉地が連なり、重なるように地下には大断層が走り、帯状の大陥没地帯となつて、数万年前から活発な火山活動を続けてきた地形です。その成り立ちや歴史を新聞記者時代から取材を続けていた玉川さんから詳しく話を伺うにつれ、久住・阿蘇の「やまなみ」から、歴史的に繋がっているその先の「島原風景街道・ながさきサンセットロードと繋がりたい！」との思いがつのり、プロジェクトメンバーで長崎を訪ねることにしました。



道守・道の駅・風景街道のアイコンが入ったバス



車中で説明する阿南さん

1日目
熊本・長洲港から長崎・多々良港（フェリーで渡ると、港には道守長崎会議の牧さん、島原風景街道の宮田さん、サンセットロードの村里さん）がお出迎え。

2日目

長崎から佐世保に向かって出発。女神大橋、西海橋と土木技術を村里さんにじっくり学び、佐世保で道守長崎会議天島さん、渋谷さん、ながさきサンセットロード草場さんと合流し、ランチミーティングで更なる交流を図りました。今回の訪問では、行く先々で待ってくださった方々によるガイドにより、身近な暮らしも含めた歴史・文化を知ることができました。

通常の観光で味わう地理的「空間軸」、歴史的「時間軸」の2軸の見方や考え方に加え、道守や風景街道が行っている「住民が主体となった活動」が加われば、唯一無二で地域の特性が磨かれます。そのためにもローカル人材の育成が重要であり、それが道守や風景街道の大きな役割だと改めて思いました。

お互いを知り、異なった視点での考え方や新しい発想を語り合うことはこれからの観光発展や連携に不可欠だと気づいた交流になりました。（九州風景街道サポート＋ 木ノ下結理）



九十九島観光公園（佐世保市）の素晴らしい景色を背景に記念写真



国指定重要文化財「旧鍋島家住宅」（雲仙市）でユニークな歌付きガイド！



原城跡（南島原市）では、400年前に起こった島原・天草一揆の歴史に触れました

海外道事情



意外と知られていない国際協力の世界、特にODAにおける道路分野の最近の状況を紹介します。

日本のODA

国際協力白書によると、2021年における日本のODA支出総額は約2兆4000億円。ODA主要国の中ではアメリカ、ドイツに次いで第3位となっています。「国内がこん



ベトナム国ハノイ市 ニャッタン橋（日越友好橋）

円借款（STEP）により日本企業が建設。2015年1月開通。ノイバイ国際空港とハノイ市を結ぶアクセス道路（円借款）とともに整備。整備効果は極めて高く、日本による支援の象徴的な構造物となっている。対ベトナム円借款額（交換文書ベース）は、2011年の2,700億円をピークに2021年には108億円まで縮小

世界に期待される日本の国際協力インフラ整備——存在感を増す民間資金活用

なに大変なのに、何故そんな巨額の資金を開発途上国にあげる必要があるのか」という声もよく聞きます。しかし、ここにはいくつかの勘違いが含まれています。まず、支出額の約6割は借款（あげるのではなく、貸している）であること。過去の円借款に対する返済として、毎年7000億円くらいが戻ってきています。そして、この支出額の大きさがその国際社会における発言力や影響力にかなり直接的につながっていること。いくら先進国で経済力があっても、この分野で世界から期待される役割をしっかりと果たさなければ、誰からも相手にされない国になってしまうでしょう。



「フィリピン国マニラ市 スカイウェイ 出典：サンミゲル社HP（<https://www.sanmiguel.com.ph/page/infrastructure>）」フィリピン財閥大手のサンミゲル社が建設・運営する都市高速道路

るような案件形成も重要な視点となっています。

ODAにおける道路分野の最近の状況

日本のODAには大きく分けて①無償資金協力、②技術協力、③有償資金協力の3つのスキームがあります。

新規の幹線道路整備など大きな予算が必要となるプロジェクトの場合、多くは有償資金協力（円借款）で行われます。一方、これまで日本にとって最大の円借款供与国であった東南アジア各国は、近年の著しい経済成長により自国での資金調達力を備えつつあり、特に有料道路案件であれば、ODAではなくPPP（対外借り入れによる政府資金ではなく民間投資による資金を活用）での整備を望む傾向が強まっています。このような大きな環境変化の中においても、多くの日本企業が活動し、土地や慣習にも馴染みの深い東南アジアにおいてODAによる道路整備案件を形成していくことは今後も引き続き重要であり、これに対する一つの切り口として、PPPとODAのハイブリッド型の案件形成が検討されています。いくら経済成長著しい東南アジアの都市部においても、民間資金の



プロフィール
福井 貴規

国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所長。2011年7月から3年間、国際協力機構（JICA）本部で道路円借款プロジェクトの技術審査を担当。在中国日本国大使館一等書記官、道路局国際室長を経て、2023年7月より現職。

おわりに

日本の国際協力、特にODAについて、ほんの一部を切り取ってご紹介しました。言葉足らずの部分や表現に語弊がある部分もあるかと思いますが、本記事を読んで頂いた方に、日本のODAが外交上極めて重要なツールとして機能していること、援助額の半分以上は有償資金協力であること、開発途上国のインフラ整備にはPPPの強い風が吹いていることをご理解頂ければ幸いです。

能登半島地震 炊出しボランティア活動報告

道守くまもと会議 世話人 阿南誠志

1月1日能登沖地震のニュースに熊本地震をすぐに思い出した。熊本地震を体験している私は地震の規模から被害が大きいことは容易に想像がつく。6日直ぐに支援物資を積んで石川県へ行くが七尾市から一般車両は入ることができず七尾市で水や食料などを届けて帰路につく。テレビニュースで寒い雪国で被災されている方々を見るたび心が痛む。現地でボランティア受け入れが始まった穴水町へ温かい食べ物を届けたいと2月10日に食料や鍋などを積み込み「道守」の仲間20名で出発した。



荷台に積んだ食糧と調理道具

熊本から約13時間の陸送で金沢市内に泊まる。翌11日に穴水町被災者センターまで車を走らせるも地震の爪痕が残る。緊急対策での作業で大変であつたろうと思うが道路は通常通り走ることができた。

「温かい食べ物を届けたい」



熊本郷土料理の
だんご汁

避難所生活をしている方へ温かい食事をお届け



穴水町被災者センターで早速炊出しの用意。熊本の郷土料理であるだんご汁、ぜんざい、ごはん、ミカンを配り避難所生活をされている方優先に地域の方まで約200人の方に温かい食べ物を届ける。「温かい食べ物をありがとございます。」と言われるとお役にたててよかったと安堵した。

私たちは、自然を愛する会ボランティア支援隊や南小国町ボランティア行動隊で日頃は国道のゴミ拾いや自然美化活動の

道守活動ボランティアとしての実践活動をしている。これまでも阪神淡路大震災、広島水害、東北地震、熊本震災、人吉球磨水害、普賢岳爆発、新燃岳爆発などの自然災害ではすぐに現地へ行き何が一番必要としているか？自分

たちに何が出来るか？を実践してきた。道を通して人がつながり心がつながることが「道守」「風景街道」「道の駅」ボランティア活動の力であり実践であると思う。能登被災地を後にした車中では喜んでいただいた満足感で帰路につく。

道守たちのトピックス

道守 人物伝

大分・別府間の動脈—— 別大国道を守って20年

大分市生石港町自治会会長

中川 敦士さん

大分市生石港町自治会会長の中川敦士さん。道守大分会議発足当初、叔父様が、道守1期生として国道に花を植えたり、美化活動に力を注いでいました。その叔父様も歳をとり、活動ができなくなった頃、敦士さんが引き継ぐ形で自治会の活動に専念するようになりました。

この西大分地区は、国道10号を挟んで6つの自治会があり、生石港町は大分市の一番西の海側に位置します。

古来よりこの地域は、柞原八幡宮の放生会（神社の神事）が賑やかに行われ、江戸時代には、大坂や京都などからも興行師が来るなど、西日本の三大市と言われていました。「ここには昭和33年まで『遊郭』も存在し、幼少の頃華やかだったことを覚えている」と中川さん。

そんな栄華のあつた西大分地区ですが、令和6年に、新・道の駅のうちのオープン、ホバーフェリーの就航、と立て続けに、九州の東の海の玄関口としての機能がここ西大分に集結し、人が集まる地域になります。

実は中川さん、長く続けてきた自治会長を令和5年度で終え、新しく若返りの体制になるとのこと。「新しい体制には銀行の人や、花植えも好きな人もいます。これからもっとこの地域が長い目で素晴らしく活性していくと思います」中川さんたちが、この地域のために活動してきたことが、このあとの世代にもうまく引き継がれるようご尽力されていきました。



生石港町自治会会長の中川さん(右)

横顔

●道路情報管理官 石橋 賢一氏



石橋賢一道路情報管理官は、本年4月より企画部環境調整官から就任。

「道守の皆さんの中にはお会いしたことが

ある方もいらっしゃるでしょうし、お目にかかれていない方もいらっしゃると思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

道守活動はみんなの心を癒やし、笑顔にしてく

れる取り組みだと思っています。官民の垣根を越えて共に楽しみながら、一緒に手をつないでいけたらと思います。

10月の『みちつくしin鹿屋2024』で道守の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。」

●道路管理課長 柴尾 照雄氏



柴尾照雄道路管理課長は、本年4月より熊本河川国道事務所技術副所長から就任。

「道守の皆様の長年の継続的な活動に対して、感謝申し上げます。日頃から各地域でそれぞれ独自の道守活動に取り組まれ、地域の魅力が高まるとともに、交流が深められていると感じております。今後とも皆様と連携して活動が推進されるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。」

道守通信 編集後記

◎今年は桜の開花が遅かったので、入学式では花びらが舞い、新入生にエールを送っていました。あちこちの生垣では主張するがごとくつじが咲き誇っています。これから色とりどりの花と緑鮮やかな若葉に心を癒やされ、うきうきと歩きたくなる季節になりました。道守活動も活発になるこの季節、21年目に向かつて皆さんと共に躍進したいと願っています。

◎道守と風景街道がタッグを組み始めました。やまなみハイウェイは、大分と熊本が連携して活動していましたが、長崎と繋がり、九州を横断する3県が、共に手をつないで活動の幅を広げていく様子をミヤマキリシマや平戸つじが温かく見守ってくれていることでしょう。

長崎県の「島原風景街道・ながさきサンセットロード」は県内をぐるりとつなぎ、道守の皆さんの地域に根差した活動と共に見所満載です。今後は、長崎の観光コースを担うようになると思います。是非、訪ねられることをお勧めします。

◎今年のみちつくしは、鹿屋市で10月24日と25日に開催されます。昨年の竹田市でのみちづくしには、九州各地からお集まりいただき、賑やかに開催でき、竹田市内のまち巡りはとても好評でした。大分会議の皆さん、ご苦労様でした。今年はちよつと遠くなりますが、二日目の現地体験コースは期待大です。大勢の参加をお待ちしています。

◎道守通信46号発行を機に、21年目に向けて、事務局では道守通信の編集について、読者の皆さんからご意見をいただき、身近な道守通信を目指したいと考えています。次号には返信ハガキを添付しますので、是非ご意見、ご要望をお寄せください。皆様からの多数のご意見を心からお待ちしています。よろしくお祈りします。

石川県穴水町被災者センター前に
集合したボランティアたち



～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

一般社団法人 九州地域づくり協会	九州国道協会	(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部
一般社団法人 日本道路建設業協会 九州支部	一般社団法人 大分県建設業協会	一般社団法人 佐賀県建設業協会
一般社団法人 鹿児島県建設業協会	一般社団法人 熊本県建設業協会	一般社団法人 長崎県建設業協会
一般社団法人 福岡県建設業協会	一般社団法人 宮崎県建設業協会	大分県道路利用者会議
株式会社大林組 九州支店	鹿児島県道路利用者協議会	鹿島建設株式会社 九州支店
九州電力株式会社	熊本県道路利用者協会	建設サービス株式会社
佐賀県道路愛護協会	清水建設株式会社 九州支店	大成建設株式会社 九州支店
長崎県道路協会	長幸建設株式会社	西日本高速道路株式会社 九州支店
日新興業株式会社	福岡北九州高速道路公社	福岡県道路協会
福岡市道路利用者会議	宮崎県道路利用者協議会	株式会社九州建設マネジメントセンター
九州技術支援協議会	株式会社熊谷組 九州支店	西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	阪神高速技術株式会社	小田開発工業株式会社
サンコーコンサルタント株式会社 九州支店	日本振興株式会社 九州支店	アイレック技建株式会社 九州支店
旭建設株式会社	朝日テクノ株式会社	株式会社 新井組 九州支店
株式会社安部日鋼工業 九州支店	株式会社安藤・間 九州支店	株式会社アジア技術コンサルタンツ
株式会社アップス	朝日工業テクノス株式会社	朝日開発コンサルタンツ株式会社
いであ株式会社 九州支店	鳥城塗装工業株式会社(九州支店)	Fe石灰技術研究所
NTTインフラネット株式会社 九州事業部	株式会社エスケイエンジニアリング	株式会社エンジニアプランニング
株式会社エイト日本技術開発 九州支店	株式会社エスイー 九州支店	扇精光コンサルタンツ株式会社
大分瓦斯株式会社	大分県建設業協会 大分支部	大分県道路舗装協会
株式会社大島造船所 九州営業所	株式会社荻島組	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 九州支店
株式会社岡崎組 勝盛会	鹿児島土木設計株式会社	株式会社柏木興産
株式会社片平新日本技研 福岡支店	株式会社カンドー	上内電気株式会社
川田建設株式会社 九州支店	株式会社ガイアート 九州支店	一般財団法人 橋梁調査会
九建設株式会社	九州建設コンサルタント株式会社	九州地区道路利用者会議
九州みちの会	協同エンジニアリング株式会社	株式会社橋梁コンサルタント 西日本支店
株式会社九州開発エンジニアリング	九州環境管理株式会社	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 九州支部
株式会社建設環境研究所 九州支店	株式会社建設技術研究所 九州支店	株式会社建設技術センター
株式会社建設技術コンサルタンツ	株式会社鴻池組 九州支店	株式会社国土開発コンサルタント
株式会社コバノ技建	コーアツ工業株式会社	株式会社駒井ハルテック 九州営業所
一般社団法人 佐賀県土木づくりコンサルタンツ協会	西部ガス株式会社	株式会社サタコンサルタンツ
株式会社西海建設	株式会社島田設計コンサルタント	株式会社親和コンサルタント
新成建設株式会社	株式会社新日本技術コンサルタント	昭和コンクリート工業株式会社 九州支店
JR九州コンサルタンツ株式会社	株式会社ジャストエンジニアリング	株式会社末宗組
株式会社西部技建コンサルタント	株式会社センコー企画	株式会社そよかぜ館(「道の駅大和」)
有限会社測量企画センター	株式会社総合技術コンサルタント 九州支店	瀧上工業株式会社 福岡営業所
多久市そうじの会(多久の未来を創る会)	宅島建設株式会社	谷川建設工業株式会社
株式会社高山組	株式会社玉の湯	太陽技術コンサルタント株式会社
第一生命保険株式会社 佐賀支店	大日本タイヤコンサルタント株式会社 九州支店	大福コンサルタント株式会社
株式会社長大テック 福岡支店	中央コンサルタンツ株式会社 福岡支店	中央復建コンサルタンツ株式会社
株式会社長大 福岡支店	通信土木コンサルタント株式会社 九州支店	株式会社友岡組
株式会社東豊開発コンサルタント	株式会社友岡建設	東急建設株式会社 九州支店
東洋技術株式会社	戸田建設株式会社 九州支店	利光建設工業株式会社
株式会社地域科学研究所	株式会社東亜コンサルタント	株式会社東京建設コンサルタント 九州支店
株式会社 中村緑地建設	南生建設株式会社	株式会社名村造船所 福岡営業所
株式会社西九州道路	株式会社西田技術開発コンサルタント	株式会社日建コンサルタント
西日本建技株式会社	西日本コンサルタント株式会社	西日本コントラクト株式会社
日本乾溜工業株式会社	日本工営株式会社 福岡支店	日本地研株式会社
西日本技術開発株式会社	日鉄鉱山コンサルタント株式会社 福岡支店	日本軌道工業株式会社
株式会社野村建設	葉隠会道守部会	株式会社萩原技研
パンフィックコンサルタンツ株式会社 九州支店	株式会社東九州コンサルタント	株式会社日高本店
株式会社ピーエス三菱	福地建設株式会社	復建調査設計株式会社 九州支店
株式会社福山コンサルタント	株式会社富士設計	株式会社富士ピー・エス
株式会社ぶげん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)	株式会社丸福建設	前田建設工業株式会社 九州支店
松尾建設株式会社	松本技術コンサルタント株式会社	株式会社三原建築設計事務所
みちを考える会	宮崎空港ビル株式会社	宮地エンジニアリング株式会社 福岡営業所
有限会社道の駅みえ	株式会社宮崎産業開発	株式会社水野建設コンサルタント
村本建設株式会社 九州支店	八千代エンジニアリング株式会社 九州支店	株式会社ヤマウ
株式会社ヤマックス	株式会社横河ブリッジ 福岡営業所	龍南建設株式会社
株式会社テクノコンサルタント		
個人会員65名		



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」春号
令和6年5月発行

「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/>

■(一社)九州建設技術管理協会内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

e-mail michi-kima@kyugikyo.or.jp